

令和2（2020）年度 第2回行政改革推進委員会議事録

総合企画部人事課

- 1 開催日時 令和2（2020）年8月19日（月）13時25分～14時25分
- 2 場 所 大会議室
- 3 出席者 行政改革推進委員 7名（五十音順）
石坂泰男委員、川瀬朝子委員、近藤千鶴委員、土田茂博委員、
中山博迪委員、西巻一男委員、村田奈緒委員
（欠席委員1名：西巻淳一委員）
行政評価（内部評価）担当課 2名
高橋財政管理課長、山田財政係長
事務局 3名
宮崎人事課長、宮川人事課長代理、村山主査

4 概要

令和2（2020）年度に実施する外部評価の説明を行い、以下のとおり対象事業の選定を行った。

対象事業	主な選定理由
創業支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者の新陳代謝は必要であり、行政が支援する意義は大きいと考える。 ・地域経済活性化、人口増のため重要な事業である。 ・オンラインへの対応が急務と考える。
ワーク・ライフ・バランス推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・男女平等、労働生産性向上のために重要な事業である。 ・ニーズとマッチングしているか見直しが必要と考える。
高等職業訓練促進給付金等事業	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での対応と予算はどうなっているか。 ・意義は感じるが、実情やニーズに合っていないように感じる。
一般教材整備費（学校教育課）※小中学校を併せて評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな生活様式に初中等教育のインフラ整備は不可欠と考える。 ・コロナ禍での対応と予算はどうなっているか。 ・長年関わってきた分野であり、関心がある。

5 委員会要旨

(1) 開会

宮崎人事課長が出席人数及び開催要件を満たしていることを説明し、資料確認を行った。

(2) 挨拶

石黒総合企画部長が他の用務と重複のため欠席となり、宮崎人事課長から、市の事業の客観性の向上及び透明性の確保を図る上で、外部評価は必要不可欠なものであること、行政改革推進委員の皆様には御負担をお掛けするが、市民目線での御審議をお願いしたいとの伝言を総合企画部長から預かっている旨の発言があった。

(3) 議事

石坂委員長が次のとおり議事を進行した。

① 行政評価（外部評価）の実施手順について

資料1に基づき、事務局が説明後、次の質疑応答を行った。

委員 自身又は自身の所属団体において、利害関係がある又は自らが受託者となっている事業が外部評価対象事業に選定された場合、外部評価会議の運営をどのように行うか確認したい。

事務局 本日、外部評価の担当委員を決定する際に、利害関係等がある事業の担当からは外れることが望ましいと考える。
しかし、日程の都合により、当該事業の評価を行わなければならない場合は、利益誘導につながる発言を控えていただければと考えている。

② 行政評価（外部評価）の対象事業選定について

資料2及び資料3に基づき、事務局が説明した。
質疑なし。

質疑応答後、希望調書の作成を行い、各委員の9月23日及び30日の外部評価会議への出席の都合と、関与している事業を確認した。

その結果、外部評価会議の日程を、以下のとおり決定した。

	9月23日（水）	9月30日（水）
評価対象事業	創業支援事業	高等職業訓練促進給付金等事業
	ワーク・ライフ・バランス 推進事業	一般教材整備費（学校教育課） ※小中学校を併せて評価
評価委員	石坂泰男委員長 川瀬朝子委員 近藤千鶴委員 土田茂博委員 中山博迪委員 西巻一男委員	石坂泰男委員長 川瀬朝子委員 中山博迪委員 西巻淳一委員 村田奈緒委員

また、評価対象事業の予備として、投票順位及び評価委員の都合を踏まえ、23日は地域おこし協力隊活動経費、30日は情報産業育成振興事業とした。

(4) その他

発言なし。

6 閉会